



毎月十五日発行 社会 宗像 大 像 所 行 行 所 宗 像 大 像 所 行 行 所 宗 像 大 像 所 行 行 所

宗像大社沖津宮・中津宮 秋季大祭斎行

神恩に感謝して

来て、一同感激の中、海上遙か四十八キロ先の沖津宮に海の幸、山の幸、又氏子崇敬者の初穂料が供えられ、一同敬虔な祈りを捧げた。午前九時半、島の最高峰御嶽山(二七四)の山頂に鎮座する中津宮境内に御嶽神社の秋祭が農業者関係者多数参列のもと斎行され、豊穣を感謝した。



筑前大島の山々に紅葉が少しづつ広がり、路辺の「つわわ」が真つ黄の花とともに甘い香りを放ちはじめた。去る十月三日、宗像大社沖津宮、中津宮、季大祭が厳粛盛大に斎行された。

大祭前の十一月一日、中津宮境内の大注連縄が、又各摂社、末社の注連縄が奉賛会、翼賛会の奉仕により新しく取り替えられ、社殿は清々しく整えられた。

この沖津宮、中津宮の大注連縄、小注連縄奉製は、八月の中頃の製作、十月に入り注連縄奉製が、



午前九時、沖津宮境内に於て沖津宮大祭が斎行され、この日は快晴となり沖ノ島の姿を拝する事が出来る。

神具・披露 株式会社 井筒 福岡店 福岡市博多区東公園一三三(電話092-812-0045) 本店 福岡市博多区東公園一三三(電話092-812-0045) 電話 京都(075)342-1134

平成九年四月には大改修工事が竣功し奉祝祭が斎行されたばかりである。又境内も美しく整備され、駐車場も新設されている。この大島住民の多くは玄界灘をわが庭として働く漁民で、沖・中津宮の信仰は特に篤い。

大祓式並びに 除夜祭の御案内

年の瀬を迎え、皆様方には御多忙の御事と拝察申上げます。恒例の年越の大祓神事並びに除夜祭につき御案内を申し上げます。この神事は一年間の心身の罪・穢を人形に託して祓い除き、清々しい気持ちで新年を迎える儀式であります。

一、十一月三十一日 午後五時 年越の大祓式 引き続き除夜祭斎行 一、皆様方に御送付申し上げました人形の赤白は男女の区別を表したものであります。男は白、女は赤に氏名、年齢を書き、息を吹きかけ初穂料を添えられ十二月三十一日までに当社へ到着する様御返送下さい。 宗像大社社務所



余滴

歳の瀬、年始は特に酒との関係が多くなる。古代中国に「壺中天あり」と云う昔話がある。酒売りの老人が商売を終ると、ひよいと壺の中に入れて飛び込んだ。それを見ていた人が壺の中に入れてもらおうと、その中は立派な建物があり美酒の接待をうけ、……と云う話であった。これは実際にあった話で「終戦直後につくった焼酎の酒を忘れた」と五十年近くたった琥珀色の焼酎をのんだところ、えい、えい、ぬめぬめと変身していったという話もある。

田野 藤井 浩子 隣の人がむかお飯わけ呉れぬ古代史講座の終りし昼に 名古屋 小田 喜一 破れたる陶器の壺は人の目に触れしことなき内側曝す 名古屋 小田 留子 新婚の旅行も指輪もなかりしが絆は解かず金婚連ふ 田久 井上 光 行会ひて声をかけ合ふ老い人ら川辺の百舌はキリキリと鳴く 鐘崎 安永 久子 一見にしかずと寒風すさぶ真夜胸ときめかせ流星群待つ 自由ヶ丘 細川 絹子 松の枝にのうぜんかすら蔓のばし共にゆれをり朝の風に 福間 井上かつみ いつしかに友の名がして巡りぬめ今が満開の菊花展にて 福間 池浦千鶴子 通りより幼が母を呼ぶ声の窓より入り来秋風にのり 池田 小田 イセ 犬鳴きダム湖上に架かる橋の壁鉄作りアトは梅に鶯 光岡 古森テル子 かつ漬の瓜を買い来し厨にて母の手さきき吾みて覚ゆ

光岡 竹浦 葛明 小春日の玄海灘をフェリー航く飛沫に小さき虹を生みつつ (評) 大和作品に対しこちららは海の景。波をけたてて走るフェリーの水しぶきに生れる虹をとらえた作者の目は確かである。調べに勢いがあるのも内容にふさわしい。 八幡 有吉 陽子 諫早の干拓進む水路わき乗る人のなき舟はかたむく (評) 傾いている舟は墜舟だろう。広大な干拓の恵みを受けたむつこう漁などこの地方特有の漁法も消えかたない。 光岡 四之宮多恵子 陶芸に初挑戦の友ら皆楽し気にして粘土をこねる 原町 八波 五月 朝々の我が敷坂路に種芒のゆれをり白毛の母かと思ふ

「十五日江戸で争ふ肩車」といふ古い川柳があり、霜月の社頭には昔も今も七十三賑わが、わが国の外交にとって今年の十一月は一連の首脳会談が相次ぐ大きな節目の年となった。すでに小淵首相は十三日、日本国首脳としては二十五ぶりにロシアを公式訪問し、エリツィン大統領と会談して西暦二〇〇〇年までに平和条約を締結する旨の「モスクワ宣言」に署名した。さらに日中平和友好条約締結二十周年の節目として中国の元首として江泽民国家主席が来日する。日米中露といふアジア太平洋地域の主要国相互の関係をどのやうに形成し、この地域の新しい秩序作りの方向を探るのか、日本外交の力量が問はれる時である。

「十五」は「十」の十倍、つまり「十」の十倍の力が、わが国の外交にとって今年の十一月は一連の首脳会談が相次ぐ大きな節目の年となった。すでに小淵首相は十三日、日本国首脳としては二十五ぶりにロシアを公式訪問し、エリツィン大統領と会談して西暦二〇〇〇年までに平和条約を締結する旨の「モスクワ宣言」に署名した。さらに日中平和友好条約締結二十周年の節目として中国の元首として江泽民国家主席が来日する。日米中露といふアジア太平洋地域の主要国相互の関係をどのやうに形成し、この地域の新しい秩序作りの方向を探るのか、日本外交の力量が問はれる時である。

乱世とお蔭参り

でもかつてない危機状況にあり、それが社会不安をさらに増幅させている。倫理、道徳を表はす英語「モラル」と、土気、氣力を表はすフランス語の「モラル」は、ともにラテン語の「モーレス」が語源と聞くと、奇しくも現下のわが国はこのモラルの低下、否、すでに崩壊状態にあるといへよう。江戸時代をふりかへると、約六十年に一度の周期で庶民が奉先から抜け出して伊勢参りに出かける現象があったといふ。最

初は大坂夏の陣(元和三、一六一七)前後に起り、その後、慶安年間(一六四八―五)にも発生し、宝永二年(一七〇五)、そして明和八年(一七七一)、さらに文政十三年と天保元年(一八三〇)の頃である。ある時期がくる日本の全人口の何割かにあたる膨大な数の人々が突如仕事を放り出して「お蔭参り」をするとな、ぬけたときと口々に唱へ続けて、踊りながら伊勢参りに向かふのである。

私には度氏子と共に久しぶりの研修旅行計画し関東地方の神社を巡拝したが、学ぶことの多い感動深い旅行となった。そこでは御祭神を通してわが国の歴史を想ひ起し、またある熱烈な一宮司の奉仕体験を基にした講話から、現下の経済不況と人間としての生き方を痛切に学ぶことができた。お宮がお宮らしく存在していることに對する安心と信頼があれば、日本人が日本の心を回復することは不可能ではない。願はば我々神道の手で、整然として感動にみちた平成の「お蔭参り」を展開して、わが国の再生と発展に力をそへて行きたいものである。

主基地方風俗舞保存会が今年、保存会結成二十周年を迎えることとなり、十一月十五日に記念の催事を行った。古来より京都を中心として西方の国を「主基地方」と称し、天皇即位の大礼である大嘗祭の大舞臺のみで披露される国風舞を「主基地方」(悠紀地方)風俗舞と

宮内省より御下賜されてより七十年を迎える事となった。当日、保存会の役員以下会員は宗像大社の折願殿にて奉告祭を執り行つて後、「田島地区公民館まつり」が開催されるアサヒス玄海大ホールにて玄海町々民に舞の公演を行った。又この催事に折尾神楽保存会の方々より特別公演にかけつけられた。折尾神楽は島根県の石見(いわみ)の流を組むもので、スサノオノミコトが、ヤマタノオロチを退治する

平成十一年 神宮大麻 頒布始祭齋行

福岡県神社庁宗像支部

平成十一年の平安を祈り、神宮大麻頒布始祭、宗像大社神符頒布始祭が、去る十一月十八日午前十一時より当大社折願殿に於て斎行された。当日は福岡県神社庁宗像支部長中村茂、摩利支神社宮司、当社宮司太田可愛を始め郡内神職、神社総代、宗像大社社評議員一同、又福岡県神社庁長横田豊氏以下関係者二百余名参列の下厳粛に斎行された。

新年を迎えるにあたり、大神宮の御神靈「神宮大麻」が全国各戸に頒布されるのである。現在、神宮司の大麻課より神社に頒布一切が委託され、各都道府県神社庁を経て、各支部で頒布始祭齋行のち、神職及び氏子総代各位の御協力により師走中頃に各戸に頒布され、新年を迎える神棚に新しい大麻と神符が奉斎されるのである。

孔大寺神社改築工事中

神郡宗像と遠賀郡との界に四ツ塚塚山がそびえる。この連山第一の高峰(四四九メートル)山腹に鎮座されるのが孔大寺神社である。孔大寺神社は、宗像三社(神・中・辺)織・許斐神社に加え、宗像八社と云われ、宗像大社に奉斎する祭には当社より奉幣が捧げられる。この山中に鎮まる孔大寺神社の明治十三年以来一七八年ぶりの大改築修繕工事が氏子中(池田)の人々の手により行なわれた。当社は中世より吉野藤王権の信仰あり白馬・大蛇等の伝説を生んだ神代神社である。

迎える平成十一年、平年乙卯の歳月が平安日々好日である事を只祈るばかりである。高峰山腹の神社とあって工事には驚く現場迄仮設ケールを設置して資材を運搬した。関係者の熱意により立派に竣工いたしますよう祈念致します。

「天蛇(おろち)」を公演頂いた。石見神楽は全国でも有名な神楽である。出雲大社御祭神の大神命は、宗像大社御祭神の田心姫神が嫁がれた先であり、宗像大社にとっても縁深い社である。神楽の公演中、二十周年の御祝いに紅白の餅まきも行つて頂くなど、会場は大いに賑わった。折尾神楽保存会の方々には心暖まる公演を賜り、お陰様で公演は大盛況であった。記念公演後宗像大社公民館にて来賓を交えて直会を行った。主基地方風俗舞保存会の足跡を振り返る共に、今後の末永く継承を誓い合つた。



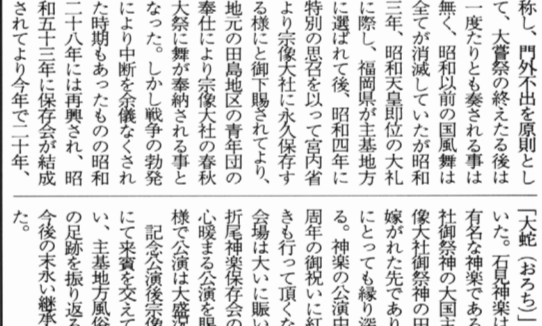
平成十一年の平安を祈り、神宮大麻頒布始祭、宗像大社神符頒布始祭が、去る十一月十八日午前十一時より当大社折願殿に於て斎行された。当日は福岡県神社庁宗像支部長中村茂、摩利支神社宮司、当社宮司太田可愛を始め郡内神職、神社総代、宗像大社社評議員一同、又福岡県神社庁長横田豊氏以下関係者二百余名参列の下厳粛に斎行された。



神宮大麻は「お蔵さん」「御蔵大麻」と称され伊勢御師の手により歳の瀬に全国津々浦々へ頒布されてきたが、明治御一新のとき、明治天皇の恩召により、



主基地方風俗舞保存会が今年、保存会結成二十周年を迎えることとなり、十一月十五日に記念の催事を行った。古来より京都を中心として西方の国を「主基地方」と称し、天皇即位の大礼である大嘗祭の大舞臺のみで披露される国風舞を「主基地方」(悠紀地方)風俗舞と



主基地方風俗舞保存会が今年、保存会結成二十周年を迎えることとなり、十一月十五日に記念の催事を行った。古来より京都を中心として西方の国を「主基地方」と称し、天皇即位の大礼である大嘗祭の大舞臺のみで披露される国風舞を「主基地方」(悠紀地方)風俗舞と

第二十七回

宗像大社献詠短歌大会

県知事賞に中村 勇氏(宗像郡) 県知事賞に中村 勇氏(宗像郡) 県知事賞に中村 勇氏(宗像郡)

第二十七回を迎えた宗像大社献詠短歌大会は、去る十一月十四日に清明殿にて開催された。短歌愛好者に好評を博している宗像大社献詠短歌大会は、主催「宗像大社献詠短歌会」後援「毎日新聞社」境内が菊花で埋まるこの時期に開催されている。本年も県内外より百二十一首が寄せられ、神前に献歌し奉告祭が斎行され、開会した。ビデオ鑑賞では「山河あり」宮村一氏の「武士の記憶」が上映され、戦中戦後を語る宮村一氏の作品を通して、夫人が知人が思い出せるNHK制作のビデオであった。短歌は人生の記録であり、歴史の一ページを語る詩文であると思つた。昼食後選考紹介と入選歌は、県知事賞に宗像郡福間町の

中村勇氏が入選された。国鉄にて日夜使ひし懐中時計龍頭を巻けば動きはじめぬ氏の国鉄職員時代を想ふ思い出深き作品が選者の心をとらえた。また宗像大社宮司賞には宗像市の甲斐テル子氏の作品が選ばれた。モンペまといで敗戦に泣きたる乙女今在りて古稀敗戦時の情景を思い出させる作品である。尚入選歌は次の通りです。(特別賞) 福岡県知事賞 福岡県教育委員会 (前記の作品) 宗像 中村 勇 (前記の作品) 宗像大社宮司賞 (前記の作品) 毎日新聞社賞 宗像 大庭八千代 朝採りの野菜をみちへの小屋に来て土の香も買う百円入れて (選考賞) 中西賞 宗像 吉田 幸子 時化しあと打上げられし雑魚に寄りついひわかめ磯辺に群れる 大野賞 下関 小田美智子 家ちかく住む友人一人電話にてこのころ 会はぬが元気がと問う 山崎賞 遠賀 上通ヨシノ 悔なきと言ふにはあはれ耐へに耐へ 喜寿健やかに今を再び



宗像 甲斐テル子 江口賞 宗像 西村 月江 吾は今草原の石をめぐりて谷わたりくる風にかかると (互選賞) 宗像大社歌会々長賞 宗像 天野 玲子 宗像大社子会々長賞 下関 川島 昭子 毎日新聞社賞 (五名) 遠賀 田中 秀樹 宗像大社歌会々長賞 宗像 天野 玲子 宗像大社子会々長賞 下関 川島 昭子 毎日新聞社賞 (五名) 遠賀 田中 秀樹 宗像大社歌会々長賞 宗像 天野 玲子 宗像大社子会々長賞 下関 川島 昭子 毎日新聞社賞 (五名) 遠賀 田中 秀樹



第二十五回

宗像本因坊戦

福永雅通(六段)に輝く 神部の「宗像本因坊」を片付けて混雑していた。連休とあって七五三参り決める第二十五回宗像本因坊戦が今年も十一月二十三日に当大社で開催された。錦旗を飾った第二十八回西日本菊花大会も終り、境内は搬出トラックや、飾段戦と、十名名高段者が競う



トーナメント本因坊戦に別れ終日囲碁を楽しんだ。例年激戦が展開される本因坊戦は、四連覇をねらう浅見六段が、又平成六年第六十一回本因坊石田徳房(六段)の逆転をねらう、一同見守る中、浅見氏が欠席され、準優勝戦は福永雅通六段と堀田鉄男五段で行なわれ、優勝は昨年準優勝された福永六段の頭上に輝いた。順位は次の通りです。◎宗像本因坊戦 優勝 福永 雅通(六段) 津屋崎 準優勝 堀田 鉄男(五段) 宗像市 三位 石田 徳房(六段) 宗像市 四位 弘(五段) 福間町 ◎一般の部優勝者 ①木村 富昌(宗像市) ②花田長生(津屋崎) ③坂井 護(福間町) ④深田 幸文(宗像市) ⑤武谷 信(宗像市) ⑥嶋田 成(宗像市) ⑦西田 利一(宗像市) ⑧蕨原 勝(宗像市) ⑨石橋 応司(福間町) ⑩藤城 彬(宗像市) ⑪松本 正美(福間町) ⑫早川 雄(宗像市) ⑬伊藤 英(宗像市) ⑭永野 啓介(津屋崎) ⑮大和 弘(宗像市) ⑯出光 国洪(宗像市) ⑰長瀬 征昭(宗像市) ⑱宮川 和幸(津屋崎) ⑲横溝 且元(宗像市) ⑳川久保孝彦(福間町) ㉑杉谷 武夫(宗像市) ㉒六戸 佑男(宗像市) ㉓吉田 千城(宗像市) ㉔佐々木良夫(宗像市) ㉕古屋 重治(津屋崎) ㉖大原 賢治(宗像市) ㉗徳弘 行安(宗像市) ㉘梅山 幸一(宗像市) 以上二十八名

石井 忠氏の

福岡県文化賞(社会部門)受賞を祝う

(宗像大社嘱託講師)



平成十年十一月十七日に福岡県は本年度福岡県文化賞受賞者を発表した。今年で第六回となるこの賞は県内で特に文化貢献に寄与された功労者と、団体に送られるものである。第八回文化賞は五部からなり、今年度は四人と一団体に授与され、石井氏は「漂着物研究家」として社会部門で受賞された。石井氏は『漂着物研究家』として全国的に知られ、関係研究書も多く出版されている。石井氏は当社との関係も深く、社報「宗像」に二十一年に投稿いただいたり、現在継続中の「続『浜の奇物』」は「二二回」を数えるが、その前、昭和五十二年六月号に「浜の奇物」第一回の奇物をいただき、今日迄二十一年間という長期間にわたって原稿をいただいている。 ◎「浜の奇物」 昭和52年6月、 ◎「宗像郡老学叢書」 昭和55年6月、 58年10月、35回 ◎「玄海沿岸地名探訪」 昭和59年2月、 60年6月、14回 ◎「続『浜の奇物』」 昭和60年8月、 平成10年11月(三回) 又石井氏は当大社嘱託講師として、御指導もいただいている。氏は県立高校の教壇に立つ

第二十六回

宗像大社秋季奉納盆栽展

宗像の秋を飾る第二十六回宗像大社秋季奉納盆栽展が、十一月十三日から十七日迄の五日間開催された。宗像大社奉納盆栽展の意義、日本の伝統と格調高き美を遺憾なく表現し、盆栽の普及、創作、技術の研鑽に励み、盆栽発展の一助とする。を今回も一展し、初試みとして展示場所を、従来の祈願殿参拝者待合ロビー内から、御本殿になるべく近い西側境内に奉納展示し、本殿周辺の景観等も考慮して、敢えて花台を使用せず、できるだけ自然に近い姿を目指し露天展示を行った。十一月十三日、今回からの新しい独自の奉納盆栽展に、(社)日本盆栽協会元福岡支部長・宮原清氏より奉納特別出品され、御神域に納められた盆栽が、丹精込め組織された会員が、丹精込めて仕立てた作品四十五席が揃い奉納展示、本殿に於て奉納式が斎行され、各作



品のお蔵いながされて奉納盆栽展が開幕した。会期が十一月十五日前後とあって境内には七五三祈願の家族連れ、若者等普段盆栽に親しみの薄い参拝者も愛好者と共に、荘厳な本殿と周りの鎮守の社を背景に、松柏類を中心とした色鮮やかな作品に熱心に見入り、神部の秋の一日を楽しんでいた。昭和四十八年に第一回奉納盆栽展を開催してから今年で二十六回目を数えることとなったが、今回改めて「奉納」の意味を考え、自然をテーマに足元から当大社に於ける展示会のあり方を見つめ直した結果、他にあまり例が無い露天展示を行ってみたいが、例年以上の鑑賞者数と、御神前に奉納した盆栽を通して、一段と強く感じるのが出来た自然への畏敬の念を会員一同満足して、平成十年度の秋季奉納盆栽展は幕を閉じた。

宗像大社歌会
俳句作品集 四二七

藤沢 井上 友洋
ユツカ咲く庭に始まる夜明けかな

福岡 森 清
夕冷えや下校子の影うすれゆく

自田ヶ丘 細川 絹子
繁りたる葉かげにづばき顔を出す

小笹 山下つづえ
流れ星を見あげけるばかりなり

日の里 花田いつ枝
やんわりと秋光晝の縁を越す

東郷 吉武 湧泉
角帽に苦勞の汗の染み残る

東郷 中野 きみ
草の戸の静けさに聞く虫しぐれ

東郷 吉田 鈴子
すずしろや老には老のたつきあり

東郷 吉田 杏子
命あるおもひしみに今年米

東郷 三浦美代
短冊に墨色淡き落葉の句

東郷 田中 雨葉
連結音のこし貨車発つ秋晴るる

東郷 木原 房子
くきやかに潮の砂秋や秋の浜

〔ご案内〕

平成十一年正月祭

新年諸祈願並びに

縁起守等授与品御案内

交通安全御守

平成十一年正月に宗像大社の社頭において、初詣の皆様にご授与致します。御札・御守と新年の御祈願について誌面を以ちまして御案内申し上げます。

交通安全御守
当大社御祭神のすくねた御神徳であります交通安全ににつきまして自動車用の御守に限らず、自転車、バイク、乗用車に至る迄、多くの種類をとりそろえて授与致して居ります。

縁起守
破魔矢・鎧矢・福連・干支土鈴・絵馬等の縁起物を授与致して居ります。

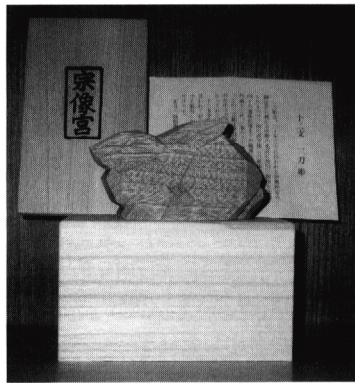
福みくし
宗像大社の新年の名物であります福みくしは神門前に授与所を特設してお持ち

車両交通安全祈願
於・折願殿(大駐車場前)に授与所を特設してお持ち

祈願初穂料(一台につき)
一、大型車 六、〇〇〇円
二、普通・軽自動車 五、〇〇〇円
三、自動・自転車 三、〇〇〇円
車内に付けます御守一体、ステッカー型御守一体、紅白御幣一体等を授与致します。

諸祈願(家内安全、厄年破り、業務安全、商売繁盛)
一、御家庭・個人 五、〇〇〇円
二、会社・団体 一〇、〇〇〇円より

皆様の御参拝を心よりお待ちしております。



十二支 一刀彫



宗像大社



宗像狛犬

平成十一年 厄年 年齢表

Table with columns for birth year (生まれ年), age (厄), and zodiac sign (宗像大社). Rows list years from 昭和十七年 to 平成十一年.

宗像大社初詣 交通規制のお知らせ

期間

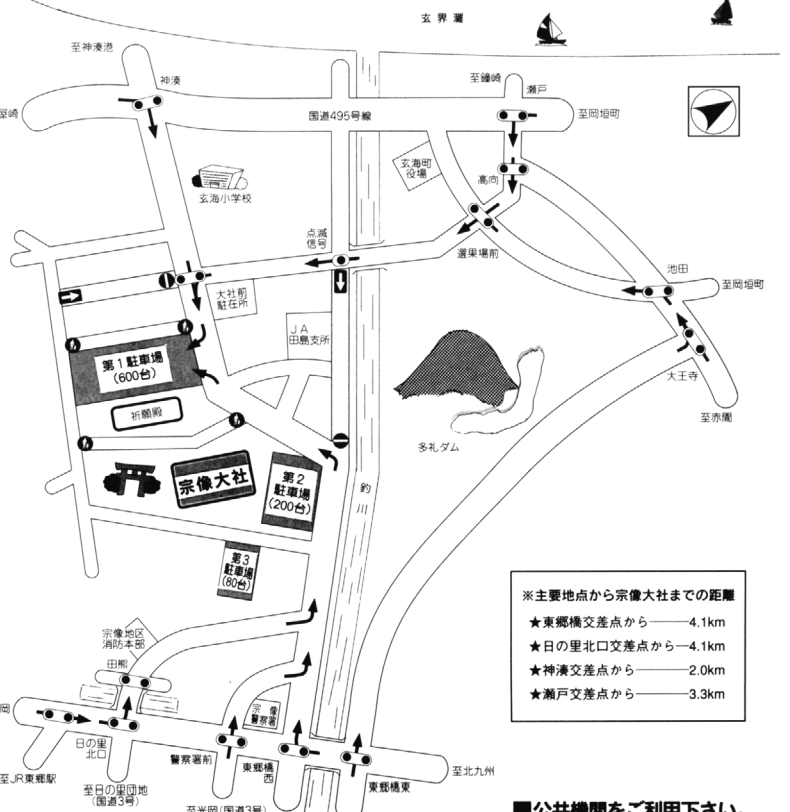
- 平成10年12月31日 午後9時から 平成11年1月1日 午後9時まで
●平成11年1月2日～5日 午前9時から午後7時まで

※交通状況により、規制時間を変更することがあります。

宗像大社の初詣期間中、交通の安全と円滑を図るため、臨時交通規制を実施します。みなさんのご協力をお願いします。

Table with traffic signs and their meanings: 宗像大社順路, 一方通行, 歩行者用道路, 車両進入禁止, 交通信号機, 駐車場.

Table with dates and times for the New Year Festival (年末年始祭典): 12月31日, 1月1日, 1月2日, 1月3日.



- ※主要地点から宗像大社までの距離
★東郷橋交差点から—4.1km
★日の里北口交差点から—4.1km
★神湊交差点から—2.0km
★瀬戸交差点から—3.3km

公共機関をご利用下さい。